

会 議 要 旨

会議の名称	令和2年度 第2回 八尾市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和2年9月11日（金）午後3時00分開会
開催場所	八尾市水道局4階 大会議室
会長 氏名	花嶋 温子 (大阪産業大学デザイン工学部 准教授)
出席者（委員） 氏名（人数） 敬略称、順不同	鈴木 靖文（立命館大学 非常勤講師） 吉川 正史（近畿大学法学部 准教授） 石村 雄一（近畿大学経済学部 特任講師） 川本 健太郎（神戸学院大学リハビリテーション学部 准教授） 中浜 多美江（八尾市女性団体連合会 事務局長） 菅 春水（八尾商工会議所 常議員） 西田 裕（八尾市自治振興委員会 会長） 木下 次郎（八尾市地区福祉委員長連絡協議会 副会長） 岡ノ谷 圭二（㈱イトーヨーカ堂八尾店 管理統括マネージャー） 岩田 志郎（八尾工場地元連絡協議会 会長） 山本 賢（八尾市高齢クラブ連合会 会長） 上田 雅範（連合大阪八尾柏原地区協議会 事務局長） 笠原 征郎（公募市民委員） 齊藤 美奈（公募市民委員） 向井 須子（公募市民委員） 北山 美恵子（公募市民委員） 前田 吉繁（公募市民委員） 計17名
欠席者（委員） 氏名（人数）	佐原 健（八尾市商店会連合会 理事長） 寺西 幸雄（八尾市小売市場連合会 会長） 計2名
事務局の出席者	八尾市 資源循環課、環境保全課、環境事業課、環境施設課、産業廃棄物指導課 コンサルタント 株式会社グリーンエコ（2名）

発言者	内容
次第1 開会	
次第2 委員の変更について	
次第3 市民アンケート案について	
事務局	事務局より「市民アンケート案」について説明
会長	それでは、このアンケート案について皆様からご意見はないか。
A委員	八尾市のごみ行政についての(1)の1番下の段落で「ふれあい収集事業」というのがどういうものか教えてほしい。
事務局	<p>ふれあい収集事業は、高齢者の方や障がいのある方等、ごみを出すのが困難な方に対する支援事業である。</p> <p>平成17年から開始しており、本市は家の周りを出してもらって戸別収集だが、ステーション回収のところもあり、階層の高い集合住宅等では下のごみ置き場まで持って行くのが困難な方がいる状況であり、そのような方のごみを門前まで取りに行く事業である。</p> <p>平成17年からスタートしているが、昨年11月から対象者を拡充する見直しも行っており、項目として挙げさせていただいた。</p>
B委員	<p>まず1ページ目、町会加入のところに「回答したくない」が無いが、何か理由はあるのかということがまず1点。</p> <p>次に2ページ目の2の2の3番で資源の有効活用というのがあるが、この資源の有効活用、他のところでは資源物となっており、言葉の整合性でどういうことか。</p> <p>次に3の3の(2)リサイクルに関する情報をどのような方法で入手していますかのところの6番目、ご近所や町会の方からとなっているが、これが4番の(2)は近所の人、知り合いとかいう言葉も入っているので、ここも一緒にしておくべきではないか。</p> <p>同じページで、コンポストの購入助成というところ、コンポストという言葉は、生ごみ、堆肥かす、養肥といった言葉で書いていたほうが分かりやすいのではないか。コンポストという単語は少し分かりにくい。</p> <p>次のページ、あなたはごみに関して困ったことや問題があった時にどのような対応をしていますか?のところ、困ったことと問題というのは項目としては別ではないかと、困った時に理由聞くところと、問題があった時に理由を聞きに行くところは違うのではないかと。以上。</p>
事務局	<p>文言の整合性の部分については、指摘いただいた点、整合性を取りながら合わせていきたい。資源物の件であるとか、文言の統一については検討し対応する。</p> <p>あと、コンポスト等の説明が詳しいほうがいいのかということについても、アンケート欄の中に収まる範囲になるが、そのような表記に努めたい。</p>
会長	個別の回答ではなく、先ほどの資源物と資源については、もしかしたら大きな意味での資源の有効活用というのと、市で出るような瓶、缶みたいな資源物の話

	<p>というのがわざと違うのかなと思う。この後、事務局で細かく対応していくというのでいいか。</p>
B委員	<p>構わない。</p>
C委員	<p>性別ということでは、回答したくないというような部分があると思う。私にはどういふ感じで使われているのか疑問に感じる。回答したくないというのが3も5もあるが、それはその他でくくることはできないのか。</p> <p>私達の団体もアンケートをよくするが、何に焦点を置いているのかわかりにくい。新しくレジ袋や食品ロスという部分では出てくると思うが、何の回答を得たいのか範囲が広く、アバウトで、難しすぎる。主婦層や子育て層は途中まで回答して、用事をして、また戻ってアンケートの続きが文字ばかりだと、もういいわと感じ、特に理由もない、その他わからないという箇所を丸にしそうな感じの雰囲気であり、1つに集中して分析するほうが市民にもイメージしやすいのではないかなと思うが。</p>
事務局	<p>「回答したくない」の部分だが、八尾市でも人権所管と統一したもので実施しているところもあり、その辺も確認しながら対応したい。</p>
会長	<p>つい最近見た生駒市の事例では、性別は敢えて聞かないというのもあり、その代わりに、ごみ出しをいつもやっている人か、そうでない人かみたいな聞き方をしている。</p> <p>とはいえ、今までずっと性別を聞きながらアンケートを取ってきているので、比較するためには性別があったほうがいいのかもかもしれないし、その辺男女共同参画といったところも含めて、もう1度お考えいただければと。</p>
A委員	<p>資料を作成する際、ページ数を打ってほしい。</p> <p>質問したいことは、後ろから2枚目の(4)、八尾市のごみ行政について今後どのような施策に力を入れてほしいかの中の2番目に、「ごみ出しのマナーが悪い世帯や集合住宅の指導、啓発」がある。これは最近感じたのだが、私の近所では、可燃ごみ等も、日にちも適当に置いていることがよくある。燃えるごみは火曜日に出すと決まっているが、月曜日に出し、その時に猫やカラスが来て、道に散らかしており、近所の方がそれを集めて袋に入れている。</p> <p>どのようにごみ出しのルールを守らない人へ指導するかということだが、例えば各町会やごみ減量推進員等がいると資料にあるが、そのような人達が指導したらどうかと思う。</p>
会長	<p>今の議論はアンケートの設計や文面なので、市で何をやっているかとかいう話は、後で市の方から答えをもらうこととする。</p> <p>他にこのアンケートについて、ここをこうしたほうがいいのか、足りない、難しすぎる等、他に何かないか。</p>
D委員	<p>ごみに関心がありますかの設問で質問が始まっているが、本人がごみを出す方なのか、それともただ玄関に置いたりするだけの方か、ごみを出しに行くのが旦那なのか、それとも自分で仕分けをして分別をしている方なのかによって答えが変わってこないのかと考えるが、いかがか。</p>

事務局	<p>まず、ごみ問題についてというところで、関心がある、関心がない等々聞いている設問だが、無作為に2,000人に問う形式のアンケートになるので、その中でどういう意識なのかということと前回のアンケートと比較しながら、どの年代がどう関心があるのか、ある程度分かるような形にしたいと思っている。</p> <p>その部分を聞かせてもらい、クロス集計等していく中で、関心がある方がどのような形で関心を持っているのか、逆に持っていない方はどういう意識があって持っていないのか、その辺も分析したいと思っているので、まずはそういう形で、アンケート案の中で聞いているという形である。</p>
会長	<p>今の回答について、関心があるかというのは当然過去にも取っているのですが、それが必要だというのは分かるが、それとは別に家の中でのごみ出し担当者なのか、そうでないのかといった質問も必要ではないかというご意見だと思う。</p>
事務局	<p>もちろん意識の部分もあるが、実際ごみ出しする方の意見ということで、少し工夫をさせてもらいたい。ごみ出しを担っている方が答えるのか、そうでないか、無作為でどういう形になるかわからないので、そういった部分もこの項目に加える方向で考えたい。</p>
E委員	<p>今、ごみ出しという言葉が非常に出てきたが、やはりごみを作っているのは誰かということだ。その辺の関心を持ってもらい、ごみを排出しているのは自分だという意識をもっと植え付けていくためのアンケートだと思う。ごみ出しをしている人、ごみを集めている人、そうでなく1人1人がごみを排出しているということをどっかに明示できたらいいのかなと思う。だから、ごみ出しをする人、奥さんか娘さんか主人か。その人じゃない、1人1人に関するアンケートだと私は思うが、いかがだろうか。</p>
事務局	<p>もちろんごみを排出しているのは個人が排出しているということ、ごみを排出しているのは自分という意識の元で、このアンケートを答える形も必要な点だと思う。一方で、実際にごみ袋を持ってステーションなり、家の前に出されている方の意見というのも当然あって然るべきと思う。その辺、両方の話は大事な話だと思われる。</p>
C委員	<p>アンケート調査では、調査票に加え、何かプラスで入れる資料はあるか。例えば「八尾市のごみの減量は、皆さん協力してもらって今現状こういう状態ですよ、八尾市のごみはこうなっていますよ」という、そういう何かアンケートだけでなく、市民向けに啓発するものも入れてはどうかと思う。</p> <p>また、このアンケートは本当に難しいと思う。アンケートといたらこういうものかも知れないが、文字ばかりで。やはり今いろんな人にアンケートを答えてもらおうと思ったら、もっと分かりやすく、何もかも聞きたいという部分がすごくあって、結局何もかも聞けてないという感じになりつつあるのではないかなと思うので、分かりにくいということであつたら、注釈入れるなり、そういう啓発的な部分もここに入れて知らせていくという部分があってもいいのではないかなと思う。</p>
事務局	<p>アンケートの調査については、アンケートを封筒に入れさせていただいて、各</p>

	家庭に送るという形で考えており、C委員から提案あった部分で別の説明書類ということで、大変いい案とは思いますが、現状そこまで用意できていない。
D委員	送付の2,000枚というのは1世帯に1通という考えか。
事務局	考え方として、1世帯というよりは1名、無作為に2,000名であるが、1世帯2通は行かないよう配慮している。基本的には名前が書かれている人に回答してもらうことで考えている。
会長	<p>それではいくつかの微修正はあるということだが、修正の上、アンケートを実施するということがよろしいか。</p> <p>アンケートは、9月下旬までに発送して、10月中旬には回収集計作業をするということなので、11月開催の審議会にはアンケート結果の速報値を委員に知らせるということを事務局から聞いている。</p> <p>次に次第4の現行計画における取り組み、課題等について、事務局から説明をお願いします。</p>
次第4 現行計画における取り組み・課題等について	
事務局	事務局より「資料2」について説明
F委員	資料2の4ページ最後の部分だが、八尾市が抱える課題が6項目明記されている。その中で、家によく不用品回収業者のチラシが入っている。あのような名無しの業者にごみの処理を委ねて、多大なお金を要求されるといったケースが多々あると聞いているが、そのような業者や不用品回収業者に対する指導は、課題として認識しているか。
事務局	不用品業者の違法回収ということだが、このような業者が家庭にチラシを入れたり、車で周ったりといった状況は認識している。現状は、取締りまでは至ってはいないが、そういった業者を使用しないように、ホームページや印刷物で呼びかけるとすることで対応している。
会長	先ほど委員から質問のあったごみ出しのルールを守らない人への問題。その辺については何か事務局で把握しているか。
事務局	町会長等からごみ出しのルールが守られておらず困っているというケースの相談を受けることもあるので、その際はカレンダーやハンドブック等啓発グッズを用意し、状況に応じ、対応している。
A委員	<p>役所からごみ減量推進員の方へ、ごみ出しのルールが分からない、または出し方のルールを守っていない人に対しての指導を依頼したらどうか。しかし、ごみ減量推進員参加率は1～2割程度、活動がないまま委嘱を終えている。私の地区でごみ減量推進員が誰か聞いたこともないが、実際おられるのですか。誰がされているのか全然わからない。</p> <p>ごみ出しのルールを守らない人に出し方が違うよと言いますが、理解しているかどうかは分からない。依然として鳥が来たり、猫も来たり、非常に近所迷惑です。</p>
事務局	ごみ減量推進員の方は主に地域の町会長に委嘱させてもらっているケースがほとんどである。毎年、市が行っている施策等、一覧にしたものを送付し、例え

	<p>ば今、紹介した施設見学会等に参加してもらうような活動をしている。</p> <p>ごみ出しのルールを守らない人への対応については、まず市に相談をもらい、パンフレット等持っているので、直接コンタクトすると意思疎通できず危険なこともあるというようなことも確認しているので、まずは資源循環課に連絡をいただき、市が持っているノウハウを駆使した上で一緒に対応するのが、良いと考える。</p> <p>指摘内容を踏まえ、毎年周知する案内文の中に文言を付け加え、共に地域のことを良くしていこうというような活動につなげたいと考える。</p>
G委員	<p>今ごみ減量推進員のことが出たが、私はごみ減量推進員を発足した時からずっとやっている。例えば、5種分別から8種分別になった時に、町内で日本語が分からない方にはごみ袋を渡す時に、母国語の説明書を付ける等努力した。だから私とこの町会ではそういう問題はない。</p> <p>確かに、ごみ減量推進員は、書類をもらい2回ほど施設の見学に行き、その後、1回何日かに分けて、ごみ減量推進員を集めて話し合いもしましたが、それ以来活動は止まっている。</p> <p>だから、町会長がごみ減量推進員になるということは、忙しい面と合わせてよっぽど意識をしないことには、推進員は本当に忙しいから動かすということは大変だと思う。その点で、私ももったいないと思う。そういうごみ減量推進員が名簿の調査をしているというのがあるのに、活動が活発にできていないというのが本当にもったいないと思うし、その点についてはこういう風にしたいがどうかというふうな相談があつて然り、ただそれもないから、私らは書類が来たらそれを見るだけ。何かで案内が来たら、それに参加するかしないかは自分らで決めるだけというような感じになっている。そういう面で、ごみの問題をもう少し深くするとしたら、そういう人達をいかに活用させるかは市の役割だと思う。だからそういう点で、案も出してもらわことには、動きにくいという、そういう意見。</p>
E委員	<p>今、G委員が発言されたように、ごみ減量推進員という制度が出来あがって5年になる。私もなっているが、何をしたらよいのか、どうしていくか方向付けが見えてこないのが現実で、ただ私の意識の中では自分達がごみ減量推進員という名前がついているけれども、何か行動を起こす団体ではないと思っている。やはり、地域でこういうことがあるということを行政に伝えていくというのが大きな役割かなと思う。</p> <p>行政から先ほど説明があったように、言うてくださいと担当課から言われたら、うちで対処していきます、直接交渉には行かないで、トラブルも多いということで。やはり、近隣の人達にはなかなか言いにくい。</p> <p>日本語が分からない方を雇っている事業所の方がどう思っているかが1番大きいと思う。事業所に雇用されている人たちですから、指導をちゃんとしてもらわないと、本人たちは言葉がわからない、習慣も違うということで分からないまま進んでいる。だから本人達に我々が何を言うたって、うちの社長何も言うてな</p>

	<p>い、これでいいになってしまうので、その辺の事業所としっかりとタイアップしてもらって、ごみの減量ということ、推進員がここにおりますから、悩み事があったら推進員に言ってくださいねという話もありかなと思う。</p>
事務局	<p>私もG委員と一緒に話をする中で、そういう連携が取れてないという部分は確かにある。個別の相談は受けているが、3年前に直接いろいろな方と話す機会を持つべきということで、施設見学会を始め、施設を見学するだけでなく、話す機会も設けるべきだということで意見交換会を実施している。</p> <p>もらった意見を踏まえもう少し踏み込んだ形で、地域の方と連携が取れるように、また忙しい中、全部やってもらうのも現実的に無理があるので、八尾の良さというのを出していけるような取り組みになれるように検討していきたい。この場で意見をもらい改めて感じたところであり、今具体的な取り組みは答えることはできないが進めていきたい。</p>
会長	<p>他にありませんか。なければ次の次第5の計画改定案について、資料が多いので、まずは前半の6ページ目までの説明を事務局にお願いします。</p>
<p>次第5 計画改定案について【主要部分】</p>	
事務局	<p>事務局より「資料3」前半部について説明</p>
H委員	<p>家庭ごみの部分になってしまうかもしれないが、過去のトレンドからのごみの排出や一人当たりの排出量とあるが、我々の立場で言うと、まずレジ袋の有料化の部分では、やはり衣料品とか住まいの品まで含めて7月から完全有料化という形となったため、大幅に辞退率が上がっている。ほとんどの方がそのまま持って行く、もしくはマイバッグを活用している。実際にマイバッグを保持される方も非常に多くなっており、そういった部分では減量につながると思う一方で、コロナの影響で個別売りという形、裸売りはほぼできない状況になっているので、実際包材を我々としては出すというのが非常に増えている。</p> <p>あと、テイクアウトが増えている影響で、家庭ごみの短期的か、コロナが長期的になるのか分からないが、増加要因にはすごく増えているのかと思う。実際、揚げ物や焼き物の量り売りを裸売りでやっていて、企業として取り組んでいたものが今できないという側面もある。トングを使うだけでものすごい数の苦情、なんでトング使っているんだと言われてしまうような消費者の心理というところがあるので。</p> <p>やはり世間の中で見る時に、短期的に見た時と、家庭ごみの排出から貢献できるかと思うが、一方でプラスチック容器等の分別の強化をすることでリサイクル率とか処理が上げればと思う。今後の計画の中で排出量を徐々に減らしていくと思うが、我々企業側から見ると一時的にこの1、2年は増えるリスクもはらんでいるという視点で計画をみてもらえればというふうに数字を見ていて思った。</p>
E委員	<p>レジ袋有料化されて、レジ袋使用の方が減ったと、そして、ごみが減ってくるということで。八尾市にお願いしているが、八尾市のごみ袋の考え方をどうされているのか。これも1つのごみになっていく。ごみ袋を変更された時、古いご</p>

	<p>み袋がたくさん戻って来た。それが家庭の中にあった、それは全てごみですよ。ビニールというもの、1番大きなごみは八尾市のごみ袋だと思う。これが有料化し、小さくなるとごみも自然と減ってくると思うが、その辺の考え方をどう取り組んでいかれるのか聞きたい。</p>
事務局	<p>今、E委員から指摘いただいた件だが、ごみ袋の見直しを行い、ごみ量も減ったという経過がもちろんある。その中で、各家庭で、余っているごみ袋等もあるだろうという指摘も前回の会議でもあったところである。</p> <p>事務局としても、どれだけ追加で渡しているというデータはあるのだが、どれだけ保管されているかというデータはないので、どれだけ各家庭に余っているのかという部分は調査しないといけないと思っている。</p> <p>その部分について、現在コロナ禍の中、あまり人の接触ができない中で、町会中心にごみ袋の配付をお願いしているが、配付時にできればその辺も合わせて、余っている部分の調査をしてもらい、把握に努めていきたいと考えている。</p> <p>また、有効な利用の仕方についても考えたい。</p>
副会長	<p>ごみ袋がどれだけ余っているのか、大変大事なところかと思う。今回、アンケート調査をする中で追加的に聞くということはできないか。</p>
事務局	<p>対象が2,000人という形の限定であり、どの辺くらいまで統計がとれるかというのが正直分からない部分もある。スペースの関係上もあるので、構成も見ながら考えていきたい。</p>
E委員	<p>今、言われたように調査は町会でやっています。ただ、この調査は、自治会が発信して、町会加入者だけしか把握はできない。加入者以外がごみ袋を行政の出張所なり本庁なり、取りに来ており、その人達の追加が多いと思う。</p> <p>町会で配られた物は基本セットというものがあって、あと人数に対して追加がある。基本セットの袋のあり方も考えてほしいのは、1人暮らしの人が非常に多い。1人暮らしの人にも基本セットを配付しているので、多く余ってきていると思う。だけどその人達が余っているからといって、1人暮らしのお年寄りがわざわざ行政まで、役所まで持っていけない。かといって、それを町会が集めてというのもちよっと無理がある。</p> <p>実は、自治振興委員会で町会と自治振興委員会の違いというものをこれから議論していきたいと思っている。町会は地域の町会費をもらった加入者、その対象にごみ袋を配っている。これで自治振興委員会としてはいいのかどうかということで、議論を始めているところで、その辺も余っている袋の調査員に役立てればいいのかなどと思っている。</p>
B委員	<p>突拍子な考えだが、未使用のごみ袋について市が買い戻すことはどうか。袋に入ったままの新品、これについては八尾市役所に持って来たら買い取るようにすれば、多少というかかなり減る気がするが。</p>
事務局	<p>買い戻したらどうかという意見だが、まず無料で配付させてもらっている物に対して、お金を払うというのは難しいと思う。</p> <p>先ほどE委員から、町会に入っていない方への対応ということで。もらいに来ら</p>

	<p>れる追加の部分は把握できても、余っている部分は把握できてないというのが実状だと思う。そこの部分についても、全体の話として、余ってきている部分がないのかという検討の中で、何か良い方法がないか探っていく形にしないといけないと思っており、今具体的にどんな案があるかと言われると出てこないが、検討していく材料だと思っている。</p>
G委員	<p>同じごみ袋のことだが、もし余っている分を市が知りたいのであれば、町会でどれくらいの人数になっているかという調査をする時があるので、その時であれば、どのような袋が余っているかということは聞く事はできる。一番初めに、家族は何人かを聞きに行く時に、余っているごみ袋はあるか。どの種類が余るか。と、さらっと聞けば、皆さん抵抗なく答えてくれる。</p>
事務局	<p>先ほどの意見だが、町会で配る対象者の世帯数等を調査する時に一緒に聞けるという話だと思う。今回コロナの影響でできなかったのがコロナ禍の影響がどこまで延びるかもわからないが、想定できるのは、配付対象の方を調査する時に一緒に聞くのが理想的だとは思っていた。ただ、状況が状況なので開始の時期についても考えていきたいと思っている。</p>
E委員	<p>余ったごみ袋は、G委員が言うように、地域で集めることもできる。それを、出張所へ持ってきてくださいと促すことはできる。ただ、余った袋を行政はどうするのか。再利用するのか、ごみとして捨ててしまうのか。前みたいな変更になったら、ごみとして捨てないと仕方ない。返ってきたらバラバラで返ってきますよね。これをどうするのかの案までを練ってもらわないと解決しないと思う。</p>
事務局	<p>前回変更前、見直し前の袋、実際たくさん出してもらい、200tほど回収させてもらった。これらについては、決して焼却したり捨てたりではなくて、プラスチックリサイクルの業者があるので、そちらに売却し、例えばマンホールの蓋の縁の部分だとか、公園のベンチの偽木だとか、そういったものにリサイクルされるようにしている。</p>
会長	<p>次に、後半部分について、7ページからご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局より「資料3」後半部について説明</p>
I委員	<p>基本方針について、現行計画では基本方針が1から6まで6本立てになっているが、来年度からの新計画の基本方針案では「3循環型システムの構築」がなくなり5本立てになっている。それは何か理由があるのか。</p>
事務局	<p>まず、現行の計画の基本方針の「3循環型システムの構築」ということで、こちらは資料2の2ページに書いてあるが、ここで挙げられている施策というのが集団回収等の自主的なリサイクルの促進、循環型システム構築に向けた家庭系ごみへの有料制の導入ということで、この2本が挙げられている。</p> <p>1の集団回収等の自主的なリサイクルの促進ということで、こちらについては、これが新計画案の基本方針の4番目の家庭系ごみの減量に入れさせてもらっている。</p> <p>2の家庭系ごみへの有料制の導入については、平成25年に粗大ごみの有料化を実施し、ひとまず終了したので、ここから削除し、5つの基本方針ということ</p>

	で提示している。
F委員	8ページの(7)に目標案があり、資源化されている量を除くごみ処理量57,000tと明記されている。この中には事業系ごみも含まれていると思うが、事業系ごみはどのぐらいの目標値に定めているのか別途示したほうが良いと思う。
事務局	この目標で挙げている57,000tの中には、事業系ごみについても含まれている。細かい内訳というのは揃えて計算しているのですが、実際計画で示す際にはそういった事業系ごみも含めて、分かりやすいように示したい。
C委員	基本理念の「プラスワン」というのは、やはりもうひとがんばりして欲しいと言う部分でプラスワンという、とてもいいアイデアでいい言葉だと思う。しかし、私達消費者、市民にとっては少し分かりにくい部分があるのではないかなと思う。注釈入りでないと分からない文章はどうかと思う。もう少しわかりやすいフレーズ、プラスワンを使いたいのであれば、行動というかこの理念の取り組みの中でプラスワンを入れるとか、それか循環型都市やおの後ろにプラスワンということをもし入れたいのであればと思う。このプラスワンという言葉を知ってもらうための努力をしないといけないのではないかなと思う。とてもいい案だと思うが、そういう感想を持った。
副会長	<p>先ほどから議論を聞いて、本当にいい話が出てきていると感じている。特にごみ出しのルールを守らない人に対してどうしていくのか、大きな議論になったかと思うが、とても大事なテーマだと思うので、どこに入るか分からないが、パートナーシップとしたら、単に1つの重要な市民の1つの区分けという訳ではないが、一緒に取り組んでいくという、そういった人達どうしていくのかということとは主題になってくると思う。</p> <p>ルールを守らないからとかいろいろ言われるところもあるかと思うが、残念ながら、私も海外に行くルールを守らないと言われると思う。それぞれのところで、どう出したらいいかわからないという状態というのは、やはり行政もごみ減量推進員の方も、サポートしていくことでルールを守らないと思われなような方々に育っていくことが、今後海外の方たちと交流も増える中で、とても重要になってくると思う。</p> <p>同様にパートナーシップという点からすると、これから高齢者の方々も非常に多くなってくる。なぜ、こういうことを言うのかといえば、目標が全ての市民に対して広くこうしていこう、ああしていこうと言うだけだと、これから合わなくなってくる可能性があり、誰に対してどういうふうにしていくのかということも、ある程度こうした計画の中に位置づけていくと、より良い暮らしというものの中からも出てくるのだという、そうしたことが見えてくるのかと思う。</p> <p>例えばごみ出しでも、もしかしたら女性の方ばかりが負担されているのであれば、そうした社会をうまくみんなで行きと、みんながごみを考えられる社会にしていこうという話にもなってくるかもしれない。そうしたいろんな面でごみと直接関わる訳ではないかもしれないが、みんなで一緒にやっていくとい</p>

	<p>う点はもっと広い意味で、いい八尾を創っていくことにつながっていくのではと思う。</p>
D委員	<p>私どもの町会でもしっかり集団回収やっている。そんな中で資源の価値が下がっており、集める意味が出てこないのではないかとやっている。ここで書いている集団回収とリサイクルの奨励金制度の継続、継続の上に増額してもらうことを考えてもらえないかと思っている。今、本当に過酷なくらい酷い。それで町会を維持してきた部分もあり、少しでも増えればうれしいのだが。</p> <p>それともう一件、私は八尾市からごみ袋をもらっていない。なぜかと言うとうちの町内では、余ったごみ袋を全部町会長である私のところに一旦全部届けてもらうようにしている。そうすると私は半年間それで生きていけまして、8月くらいになってくるとブルーが足りない、ピンクが足りない私の家にみんな取りに来てくれます。電話してくれたら配達もするよと言って、ポストに入れに行ったりしている。</p> <p>大きな意味で、八尾市で調整するのは難しいですが、町内単位で動かすとすぐスムーズに動けると思う。だから前回の時も余り戻さずに済んだのではないかと思い、もう何年もわが家はもらわずに最低限でやっている。</p>
E委員	<p>やはり事業者を意識がなかったら従業員も意識がないと思う。だから事業所ごみをどう考えていくのかというところで、有料ごみの袋に、そこやったら何を入れてもかまわない。前も言わせてもらったが、八尾市も分別してないと、プラと紙と一緒にやというのは八尾市の袋に入れなくて、半透明の無地の袋に入れている。そういうところの事業所があったらそこに勤めている者は同じように考えるから、事業所のごみの分別というものをもっとしっかりと進めていかないと、まして事業者は商売してる人で一般家庭と違うから、儲かった後のごみが何かそんな工夫ができるのではと思う。</p>
事務局	<p>D委員、E委員から意見をいただいた部分で、まず、奨励金の上乗せというのは、財政的な問題もあるため、検討した上で、財政部局と交渉するが、できるとは言い切れない。</p> <p>町会単位で会長になっていただいて、やりくりしていただいているということで、こちらとしても非常にありがたい話である。町内単位でやってもらっているというのは、町会とかにこういうやり方もできると示すことも有効であると考えている。</p> <p>事業所の分別内容というところで、事業系ごみの回収をしている許可業者の搬入物検査の中で、排出されている部分で分別できてないもの等あれば、許可業者に排出事業所の特定をしてもらい、そこに直接指導する形も取っているところである。</p>
会長	<p>他に何かご意見等はないか。</p> <p>なければ、最後に6のその他として何かあるか。</p>
A委員	<p>先ほど副会長が言われた高齢者という言葉からだが、シルバー人材センターの活用を考えられた事はないか。</p>

	<p>廃棄物処理とシルバー人材センターの活用とそのキーワードで、何か役所として考えはあるか。</p>
事務局	<p>直接ではないが、シルバー人材センターを活用する部分はある。今、リサイクルセンターで分別の部分で、委託業者がシルバー人材センターを活用し、分別とかをやっているという事例はある。</p>
会長	<p>それでは事務局からその他について、報告をお願いします。</p>
<p>次第6 その他</p>	
事務局	<p>最後にまとめの前に、本日もらった意見の中で途中アンケートの発送をする際に、市が今思っていることを伝えられるのではないかとこのところを急遽今ここで調整し、1枚2枚であれば送付の可能性が見えてきたので、その方向で前向きに検討する。</p>
事務局	<p>その他として、事務局から2点ご報告をさせてもらおう。まず1点目、前回、会議開催の際に資料提供していた、11月8日、日曜日に第13回持続可能な社会を目指す検定、3R低炭素社会検定開催の案内ということでチラシを配付したが、コロナ禍の影響により中止という報告があったので、まずその点、お知らせする。</p> <p>2点目、本日スケジュール表の配付をしているが、第3回目以降の部分のスケジュールについて提案する。まず、第3回目は、10月14日(水)の午後3時から会場は本日と同様、水道局の4階大会議室で実施。続いて第4回目は11月2日(月)午後2時から市役所本館8階の第2委員会室、第5回目は、12月18日(金)午後2時から同じく本庁の8階第2委員会室にて審議会の予定をしている。</p> <p>なお、本日種々頂戴した意見を、第3回の資料に盛り込み提出していきたい。</p>
会長	<p>何かその他の発言はあるか。なければ本日の会議案件は全て終了した。これにて、八尾市廃棄物減量等推進審議会を終了する。</p>